

東大野球部メールマガジン Vol.176

ごあいさつ

秋晴れの爽やかな季節を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

9月16～19日にかけて行われた対慶應義塾大学戦は、1回戦では初回から先制し、6回には新堀(2年・内野手・麻布)の本塁打が飛び出すなど打線が爆発、投げては宮台(4年・副将・投手・湘南)が要所を締める投球で2失点に抑え今年初勝利を収めました。念願の勝ち点がかかった2回戦は4投手の継投で粘りを見せるも相手投手を攻略しきれず惜敗、3回戦はチームとして14年ぶりとなる2桁得点を奪う猛攻を見せたものの、序盤の失点が響き敗北を喫する結果となりました。

空き週を挟んで挑む今週末の対早稲田大学戦では悲願の勝ち点奪取を達成できるよう、チーム一丸となり練習に励んでまいります。

今後とも東大野球部への熱い声援をよろしくお願いいたします。

今後の日程

〈平成29年度 秋季リーグ戦〉@明治神宮野球場

9月30日 立大 10:30 明大 早大 13:00 東大

10月1日 東大 10:30 早大 明大 13:00 立大

10月7日 慶大 11:00 明大 東大 13:30 法大

10月8日 法大 11:00 東大 明大 13:30 慶大

今回の特集 「主将・主務特集」

今回の特集では、主将・主務として1年間チームを引っ張ってきている山田主将・黒田主務の人柄や、2人から学んできたことについて下級生に語ってもらいました。

◆主将◆ 山田 大成



田畑 亮 (3年・内野手・戸山)

大成さんは僕の1つ上の先輩で、僕が入部した時からレギュラーとして出場していました。守備が上手く、後輩にも的確なアドバイスをする優しい先輩です。が、しかし、早くからレギュラーとして出たという事実と先輩にも厳しい発言をすることから大成さんのことを恐れている後輩も多いのではないかと思います。少なくとも星川くん(3年・外野手・開成)は1、2年生の頃ずっとびくびくしていました。僕もその1人だったのかも知れません。大成さんとキャッチボールをすると、僕の投げたボールはいつも未知の軌道を描いていました。普段は後輩には優しい先輩だと頭では理解していても、身体は違ったようです。卒業までにもう少し仲良くなつて、物怖じせずキャッチボールが出来るようになりたいです。



山下 朋大（2年・内野手・東海）

主将の大成さんは常に攻守ともに華麗なプレーで内野、そしてチームを引っ張って下さっているだけでなく、自分が悩んでいる時などには声をかけて下さいます。特に自分が福岡合宿に行けず東京で練習していた時にはよく気にかけて下さり、様々なアドバイスをいただけて上達することができました。大成さんと野球ができるのも残りわずかとなってしまいましたが、少しでも大成さんの技術を吸収して自分も近づけるように努力したいです。



有賀 雄野（1年・内野手・都立西）

大成さんはプレーで引っ張る、頼りになるキャプテンです。走攻守のどれをとっても抜群の野球センスを持っていていつもお手本にしています。またスタープレーヤーであるにも関わらず、質問するといつも丁寧かつ的確に答えてくださる優しい先輩です。今は雲の上の存在ですが、僕も少しでも大成さんに近づけるように頑張ります。



主務 黒田 陸離



中川 駿（3年・副務・学芸大附）

黒田さんは自分にとってマネージャーとしての生きた教科書のような存在です。2年前の冬にマネージャーになって以来、礼儀、気配り、先読みといったマネージャーとして備えるべきものは黒田さんの行動を見て学び、真似をしようとしてきました。そして、その度に黒田さんの能力の高さを痛感してきました。残された時間はわずかとなってしまいましたが、これからも必死に吸収し、少しでもレベルの高い、黒田さんに認めていただけるようなマネージャーを目指していきます。



柳田 海（2年・マネージャー・湘南）

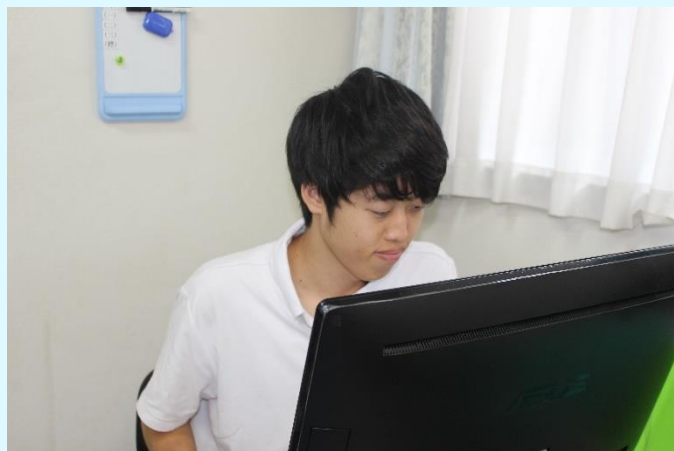
僕にとっての黒田さんは目指すべきもの、道標でした。この1年間、仕事への姿勢や考え方など黒田さんの一挙手一投足に注目し、少しでも近づけるように考えて行動してきました。一緒に仕事できる時間もわず

かとなりましたが、主務としての黒田さんの姿を最後までしっかりと焼きつけ、来年以降自分がその姿に追いつき、そして追い越すことができるよう精進してまいります。



玉村 直也（1年・マネージャー・渋谷教育学園幕張）

正直に言うと、黒田さんは厳しい方だと思います。厳しいというと否定的な印象がありますが、僕が言いたいのはそうではありません。人に厳しくできるということは、自分が責任を持って誰よりも仕事をこなしているということです。僕は人に厳しく接することができないのですが、それは自分に対する甘えであり、自分が注意しない分、後で自分がミスをした時に責められないよう保険をかけているとも言えます。これから自分の学年が上がっていく中で、後輩に厳しいことも言えて、責任感にもあふれる黒田さんのような先輩になりたいです。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

次回は「あの人へ一言」と題し、4年生へ最後に伝えたい気持ち、思い出のエピソードなどについて下級生に語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。